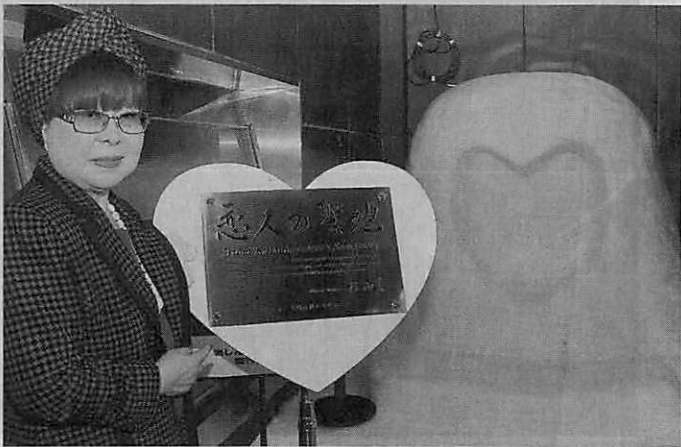


「ラブかま」でプロポーズを



新設されたラブかまの前で恋人の聖地認定プレートを手にする桂さん（14日、横手市のかまくら館で）

聖地認定で式典 横手

「恋人の聖地」に認定された横手市中央町の「市ふれあいセンターかまくら館」で14日、認定記念式典が行われた。恋人の聖地の認定は、県内では秋田市土崎港に次いで2か所目。

恋人の聖地は、少子化対策と地域活性化を目的とするNPO法人「地域活性化支援センター」（静岡市）が、全国の観光地の中からプロポーズに適したロマンチックな場所を認定している。これまでに全国で109か所が認定され、同館は昨年10月に選ばれた。

きっかけは昨年2月14日に同市観光協会が同市駅前町に作った、入り口がハート型のかまくら「ラブかま」。訪れたカップルらに好

評だったことから、同協会で「かまくらを使った恋人の聖地化」を模索していた。

同館は、マイナス10度に保たれた冷凍室にかまくら1基が設置されており、1年を通してかまくらを体験できるほか、市の歴史や文化を映像展示などで紹介している。認定を受け、冷凍室には、小さなラブかまが新設された。

この日は、恋人の聖地選定委員でブライダルファッションデザイナーの桂由美さんが同館を訪れ、認定プレートを贈呈した。桂さんは「かまくらに（一人で）入ったら相手がほしいと感じた。白くて清潔感があり、ここでプロポーズされたら一生忘れられない」と話した。